

丹後人権教育指導者研修会

令和8年9月18日（金）、アグリセンター大宮において、今年度は公民館等関係者に加え、主任児童委員及び人権擁護委員等も対象とした「令和8年度丹後人権教育指導者研修会」を開催しました。

講師には国連 NGO 子どもの権利条約総合研究所 副代表・関西事務所所長 浜田進士 様をお迎えし、「子どもにはチカラがある ～子どもの人権を大切にしたい地域づくりの推進～」と題して講演・演習をしていただきました。

一人一人の子どもの人権が尊重され健やかに過ごせることが、誰もが安心して暮らしやすい地域づくりへとつながることに参加者が気付き、人権感覚が磨かれ、多くの学びを得る機会となりました。子どもの権利を尊重する視点から、子どもの力を信じて待つ大人の在り方や求められる役割等について、多くの御示唆をいただきました。

この研修会を機に、丹後地域における人権教育がさらに充実し、誰もが安心して暮らすことができる地域になるよう、皆様とともに学び続けていきたいです。



<参加者感想より>



- ・子どもにはチカラがある。だから「子育て」させられる環境を地域でどう創っていくのか考えさせられました。
- ・「大人のよかれが子どもにとって一番いいこととは限らない」という言葉が印象に残りました。そこから意見を交わし決めていくことがいかに大切かということが分かりました。

- ・知らずに大人の権威で子どもに話し、子どもの本音、本当に話したいことが聴けているのか、話を「聴く」ということについて考えさせられました。
- ・子どもの人権を大切にしたい地域づくりとして、子どもを主体に子ども真ん中の子育て環境の大切さを学ばせていただきました。

